

丹後市民局

ルックルック!

NEWS
 R6.2月号

地域おこし協力隊 田嶋友幸の

活動日記

宇川金曜市でチャリティーライブを開催



チャリティーライブでウクレレを演奏するmaiさん



喫茶コーナーの売上は被災地へ全額寄付

1月26日に宇川アクティブライフハウスでチャリティーイベントが開催されました。宇川金曜市喫茶コーナーが、ウクレレ講師maiさんを招きチャリティーライブを開催するとともに、「一杯のコーヒーで被災地を応援しよう」と、この日の喫茶コーナーの売上を能登半島地震で被災された方へ全額寄付。

ウクレレの明るい音色から生まれるハワイアンミュージックが、雪の残る宇川に鳴り響きました。訪れた人はおいしいコーヒーとスイーツを味わいながら音楽を楽しみました。最後にはみんなで合唱も！素敵な時間をありがとうございました！

思い出写真館

～古（いにしえ）の写真から現在（いま）を紐解く～

第8回は、昭和50年代に撮影された百度打ちの様子です。腰に締める化粧まわしは、大正3年に天皇陛下のご即位を記念し作られたもので、現在も使用しています。


 昭和50年代の百度打ち
 (写真提供：蒲田 幸造さん)


現在 (令和6年2月撮影)

間人岡成地区の伝統行事「百度打ち」

2月4日(日)

無病息災や家内安全、豊漁を願って、三柱神社(向地地区)と稲荷神社(谷地区)、早尾神社(岡成地区)を参拝する「百度打ち」。江戸時代、大間区と古間区に若者宿という世話方(役)があり、朝早くにフンドシー丁姿で海で身を清め、浜の小石を拾い、氏神様に供える行為を百度繰り返していたことが百度打ちの起源で、間人地区で相撲が盛んであったことから化粧まわし姿になったと言われています。

丹後町の人口		
	R6.1月末	前月比
0-14歳	353	△1
15-64歳	2,099	0
65歳+	2,051	△3
計	4,503	△4

 ←丹後市民局ルックルックNEWSの
 バックナンバーはこちら


丹後町にまつわる古い写真を大募集!

丹後町内の古い街並みや地元に残る行事・祭事を写した古い写真を紹介し、昔の丹後町のたたずまいや生活ぶりを紹介するコーナーです。秋祭りの太刀振りの様子を写したものなど懐かしい写真をご提供願います。写真の提供については、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市長公室丹後市民局 (TEL0772-69-0714)

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

丹後町内の元気やおめでたい情報をお届けする

Tango 元気 news



停止間における小隊訓練



年末警戒実施中
(丹後方面隊第4分団)



文化財防火訓練であいさつする
山田聡丹後方面隊長

地域密着で消防活動や防災活動を行う 地域防災の担い手

【京丹後市消防団 丹後方面隊】

消防団の始まりは江戸時代。8代將軍徳川吉宗が江戸南町奉行大岡越前に命じ、「町屋の火消しは町人によって行う」ことを目的に組織した「町火消（まちびけし）」が起源といわれています。地域住民で組織する点は、現在の消防団にも受け継がれています。

地域住民で組織されているからこそ、活動内容も地域密着型。火災が起きた場合は、いち早く現場に駆け付け、災害が起こった場合は、避難誘導や警戒パトロール、行方不明者の捜索を行います。また、平常時には、年末警戒などの火災予防活動や機械器具点検、訓練の実施など幅広い活動を行っています。迅速な対応を可能にするのは、地域とのつながりと土地勘があつてこそ。非常時における消防団の初動の早さは、地域にとって心強い存在です。しかし、近年は団員数の減少と高齢化が課題となっています。

「近年、自然災害が増加し、消防団の重要性は高まっています。消防団員の多くは、地域貢献のため活動に参加していますが、人口減少や自治会の役職を兼務する団員、夜勤など勤務体系の多様化により、人員確保が難しい分団も存在するようになりました。時代の流れに合わせ、活動内容など必要な見直しを行い、柔軟に対応しているところです。」と山田聡丹後方面隊長。江戸の火消しから続く「地域の安全は地域住民の手で」の理念に賛同し、消防団活動に参加しませんか。消防団員は随時募集しています。



官司、総代、地元区長も訓練に参加



竹野神社官司 櫻井祐策さん

掲載団体や話題、表紙の写真を大募集！

スポーツ、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。また、表紙の写真を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市長公室丹後市民局（Tel.0772-69-0714）

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

文化財防火訓練



丹後方面隊文化財防火訓練
(竹野神社)



丹後町内の地域の動きやトピックスをお届けする

Tango 地域 news

1月13日（土）、間人地区への移住促進プロジェクトに取り組み「同志社大学プロジェクト科目 京丹後移住促進」新たな地方移住の仕組み作りが主催するワークショップ「第2回 寄って たかって たいざ」が開催されました。まるとつば間人プロジェクト推進協議会、間人地区、同志社大学の3者が連携し開催しました。

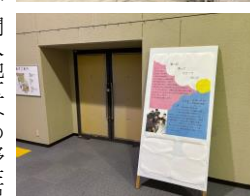
今回のワークショップのテーマは「観光のまち たいざ」を指し、観光業者と地区の連携について話し合いました。

「間人地区が持つ雰囲気や独特の空気感、間人地区を訪れることで味わえる「あるがまま」の魅力を観光客に提供したい。」「間人の街並みを守るために空家の活用が必要。街並みを守るエリアをゾーニングし、例えば、空家を活用して起業したい移住者を集中的に募集してはどうか。」など活発な意見交換が行われました。

1月13日（土）、間人地区への移住促進プロジェクトに取り組み「同志社大学プロジェクト科目 京丹後移住促進」新たな地方移住の仕組み作りが主催するワークショップ「第2回 寄って たかって たいざ」が開催されました。まるとつば間人プロジェクト推進協議会、間人地区、同志社大学の3者が連携し開催しました。

今回のワークショップのテーマは「観光のまち たいざ」を指し、観光業者と地区の連携について話し合いました。

「間人地区が持つ雰囲気や独特の空気感、間人地区を訪れることで味わえる「あるがまま」の魅力を観光客に提供したい。」「間人の街並みを守るために空家の活用が必要。街並みを守るエリアをゾーニングし、例えば、空家を活用して起業したい移住者を集中的に募集してはどうか。」など活発な意見交換が行われました。



第2回 寄って たかって たいざ

観光のまちづくりを目指して同志社大学の学生と連携し、ワークショップを開催（まるとつば間人プロジェクト推進協議会）



ガトーショコラ（デザート）



ピザ生地のばしを中里講師が実演



おいしそうに焼き上がったピザ



子どもと一緒に生地のばし

中里さん（間人地域おこし協力隊）を講師に招き「本格ピザ焼き体験」を開催されました。

1月21日（日）、丹後地域公民館で「新春本格ピザ焼き体験」が開催されました。昨年12月に間人地区を担当する地域おこし協力隊に就任した中里佳史さんが講師を務めました。中里さんは、イタリア料理のレストランでの勤務経験をお持ちです。

生のピザ生地を使用し、ハート形や長方形など参加者が自由に形を決めたため、焼き上がり心が配されましたが、上手に焼くことができました。ピザの試食に合わせ、中里さんからオードブルとデザートが振る舞われ、参加者はフルコースさながらのイタリア料理を堪能しました。



アメリカでのバレンタインの過ごし方を説明



お手製のチョコレートボンデュ

12月21日（木）は、丹後小学校PTAと協力し、クリスマスイベントを開催。1年から6年生の教室にサンタクロースが訪れました。2月14日（水）は、宇川わくわく教室のバレンタインイベントに参加。日本とアメリカのバレンタインの違いの過ごし方を子どもたちは熱心に聞き入っていました。最後にチョコレートボンデュを子ども達と一緒に楽しみました。

地域イベントに積極的に参加【米陸軍経ヶ岬通信所】

米陸軍経ヶ岬通信所は、地域の子どもと親睦を深めるため、ハロウィンやクリスマス、バレンタインデーなどを祝うイベントを開催しています。

12月21日（木）は、丹後小学校PTAと協力し、クリスマスイベントを開催。1年から6年生の教室にサンタクロースが訪れました。2月14日（水）は、宇川わくわく教室のバレンタインイベントに参加。日本とアメリカのバレンタインの違いの過ごし方を子どもたちは熱心に聞き入っていました。最後にチョコレートボンデュを子ども達と一緒に楽しみました。



丹後小学校でのクリスマスイベント